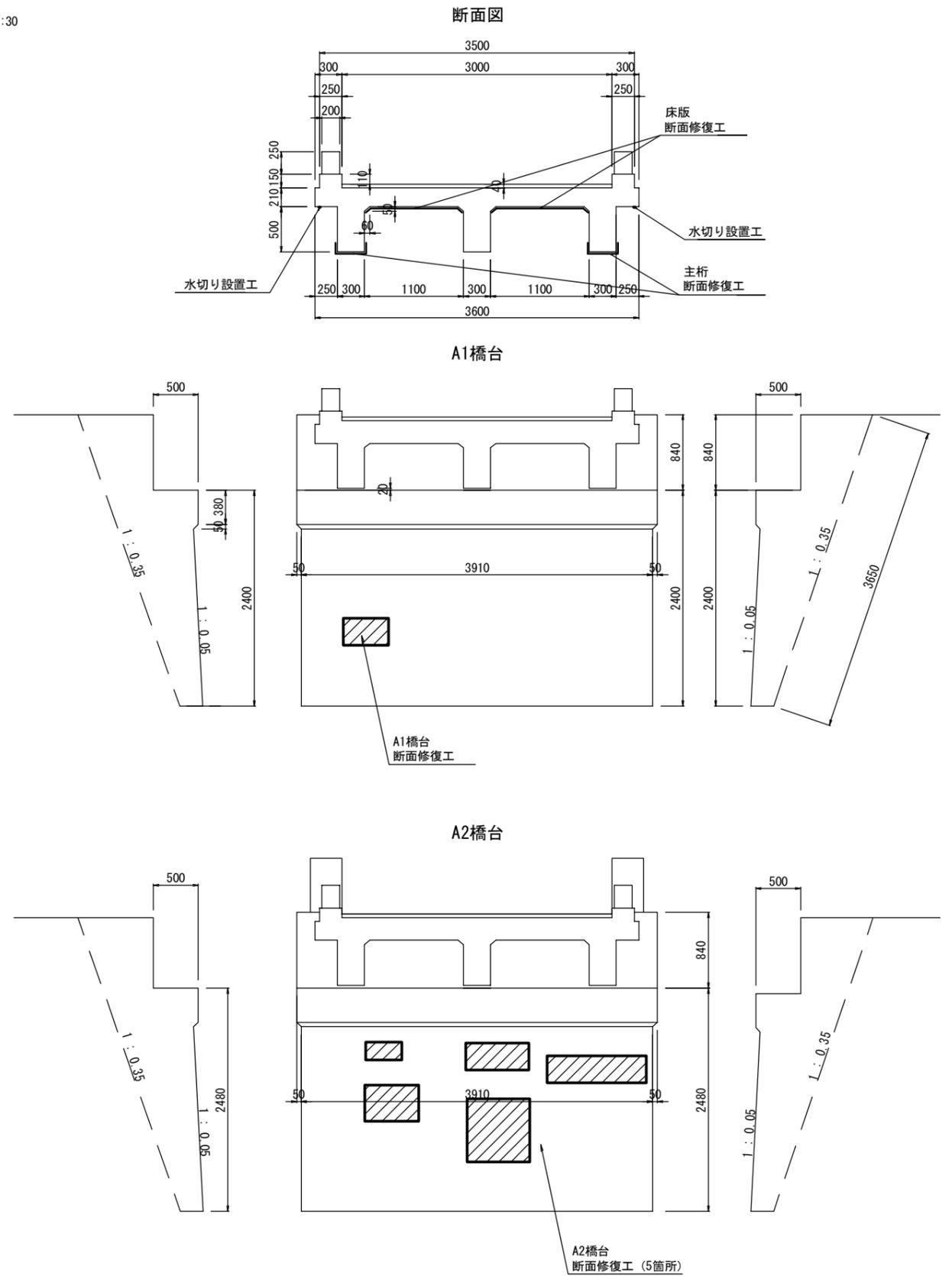
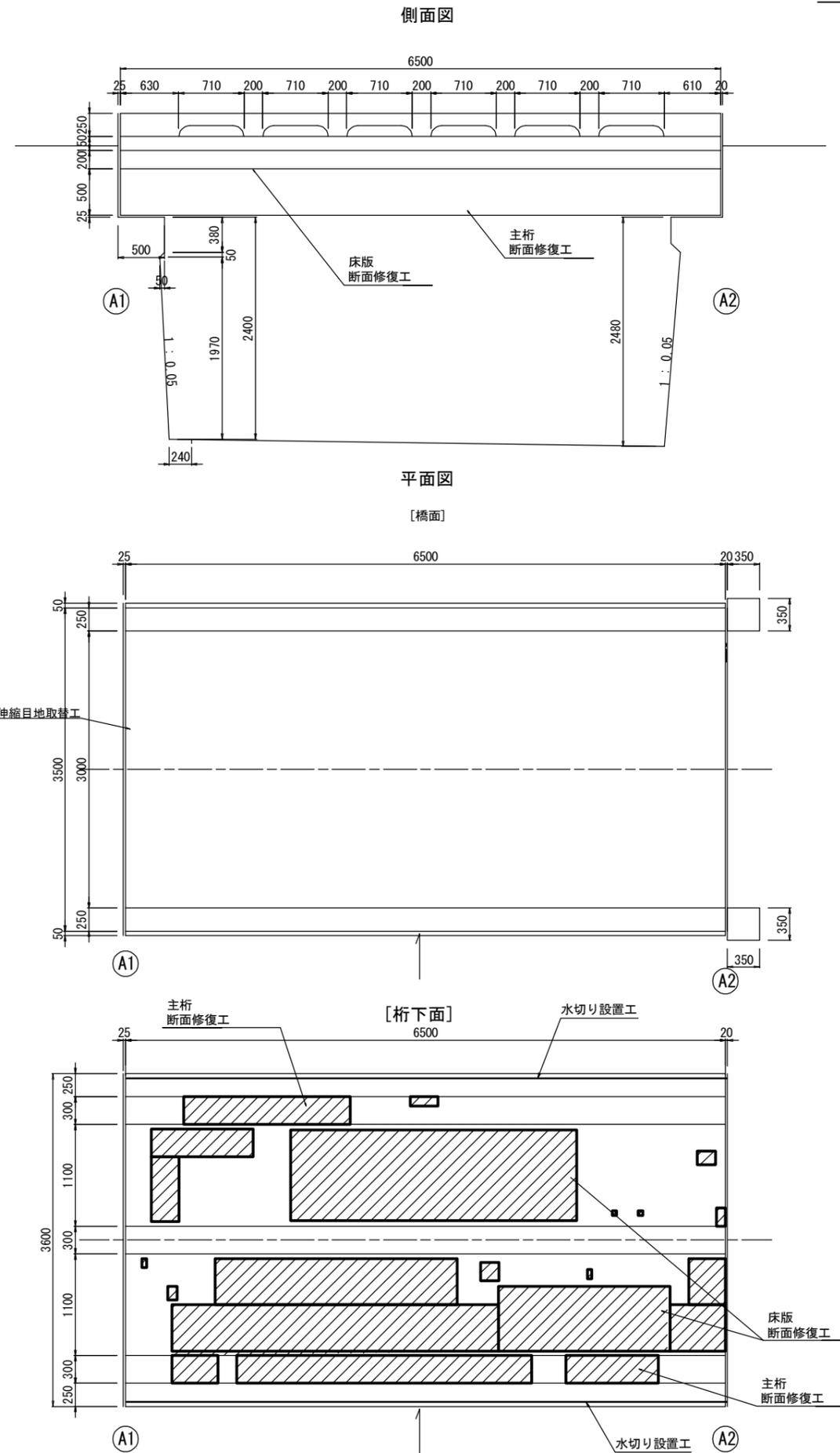


対策一般図  
(早谷橋) S-T:30



工事名	令和3年度 道路メンテナンス事業 市道出合床並中出線早谷橋橋梁修繕工事		
図面名	対策一般図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	1/6
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

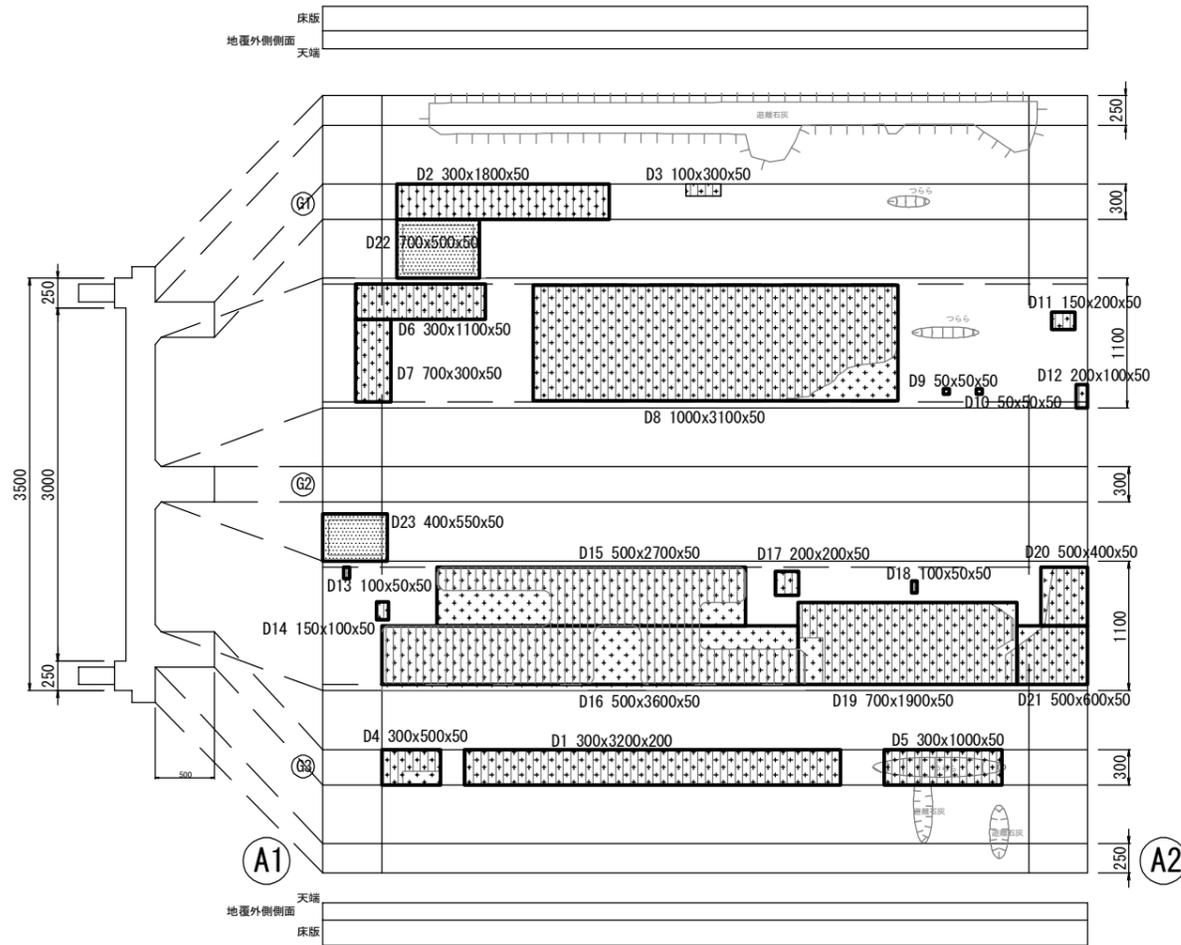
A3出力時は、表記縮尺の倍です。

# 上部工補修図 (早谷橋)

## 凡例

鉄筋露出	断面修復工 (有筋)	
剥離	断面修復工 (無筋)	
浮き		

桁下面図  
S=1:30



### 断面修復工A (有筋) 鉄筋露出 (損傷深さ大)

番号	部材名	損傷箇所	長さ1 (mm)	長さ2 (mm)	深さ (mm)	面積 (㎡)	体積 (m³)
D1	主桁	G3 下面	300	3200	200	0.960	0.1920
断面修復工 A (有筋) 合計						0.960	0.1920

### 断面修復工B (有筋) 鉄筋露出

厚さ: 50mm

番号	部材名	損傷箇所	長さ1 (mm)	長さ2 (mm)	深さ (mm)	面積 (㎡)	体積 (m³)
D2	主桁	G1 下面	300	1800	50	0.5400	0.0270
D3	主桁	G1 下面	100	300	50	0.0300	0.0015
D4	主桁	G3 下面	300	500	50	0.1500	0.0075
D5	主桁	G3 下面	300	1000	50	0.3000	0.0150
小計 (主桁)						1.0200	0.0510
D6	床版	G1-G2	300	1100	50	0.3300	0.0165
D7	床版	G1-G2	700	300	50	0.2100	0.0105
D8	床版	G1-G2	1000	3100	50	3.1000	0.1550
D9	床版	G1-G2	50	50	50	0.0025	0.0001
D10	床版	G1-G2	50	50	50	0.0025	0.0001
D11	床版	G1-G2	150	200	50	0.0300	0.0015
D12	床版	G1-G2	200	100	50	0.0200	0.0010
D13	床版	G2-G3	100	50	50	0.0050	0.0003
D14	床版	G2-G3	150	100	50	0.0150	0.0008
D15	床版	G2-G3	500	2700	50	1.3500	0.0675
D16	床版	G2-G3	500	3600	50	1.8000	0.0900
D17	床版	G2-G3	200	200	50	0.0400	0.0020
D18	床版	G2-G3	100	50	50	0.0050	0.0003
D19	床版	G2-G3	700	1900	50	1.3300	0.0665
D20	床版	G2-G3	500	400	50	0.2000	0.0100
D21	床版	G2-G3	500	600	50	0.3000	0.0150
小計 (床版)						8.740	0.4371
断面修復工B (有筋) 合計						9.760	0.4881

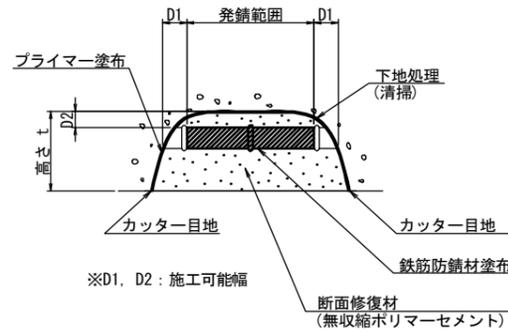
### 断面修復工C (無筋) 剥離

厚さ: 50mm

番号	部材名	損傷箇所	長さ1 (mm)	長さ2 (mm)	深さ (mm)	面積 (㎡)	体積 (m³)
D22	主桁	G1 側面	700	500	50	0.3500	0.0175
D23	主桁	G2 側面	400	550	50	0.2200	0.0110
断面修復工C (無筋) 合計						0.570	0.0285

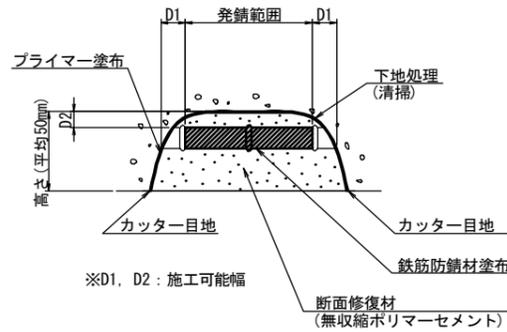
断面修復工A 詳細図

(有筋, 損傷深さ大) S=None



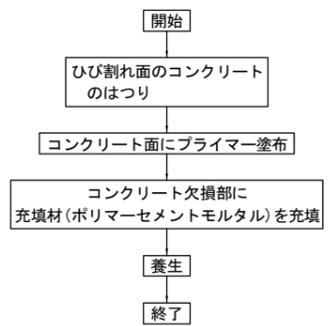
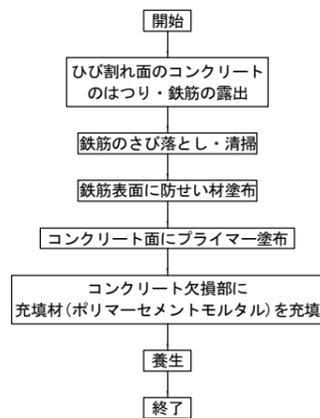
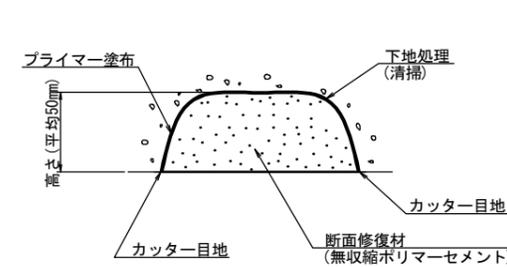
断面修復工B 詳細図

(有筋) S=None



断面修復工C 詳細図

(無筋) S=None



- 注) 1. 既設と補修境界部に10mmのカッターをいれること。  
 2. フェザージェッジとならないように周囲を処理すること。  
 3. 現地確認 (叩き点検) のうえ、うき及び剥離・鉄筋露出の全てを対象とすること。  
 4. はつり処理深さは鉄筋位置としてはならない、鉄筋を確実に露出させること。  
 5. 鉄筋錆については、ワイヤブラシやサンドブラストで確実に除去すること。  
 6. 既設鉄筋は下地処理後迅速に、防錆材を塗布すること。  
 7. 施工数量については、現地再確認を行った上で決定すること。

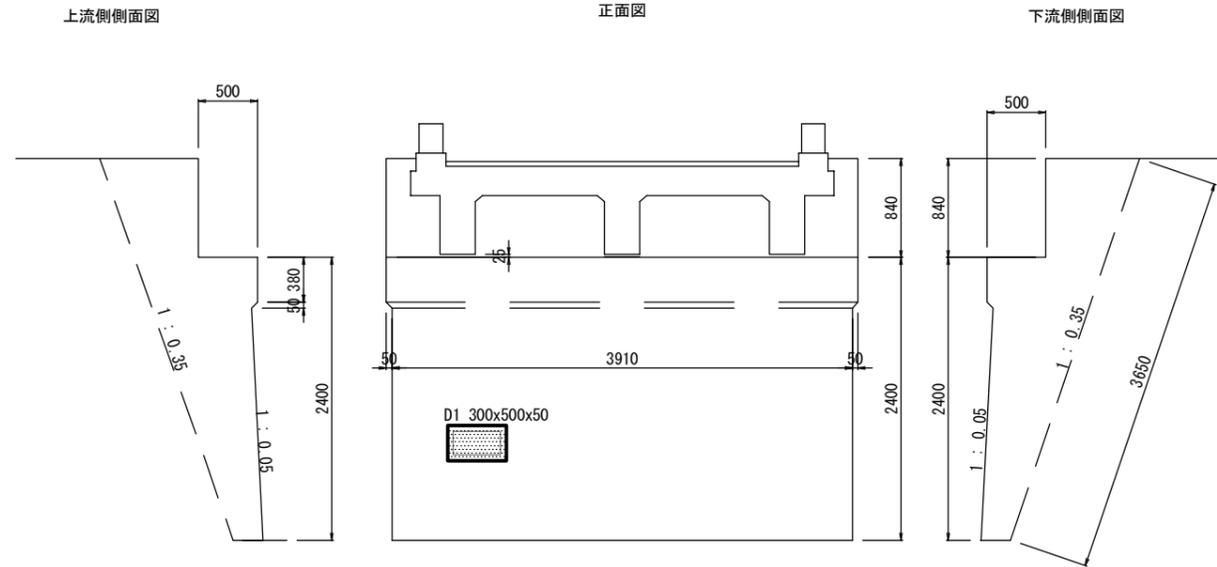
- 注) 1. 既設と補修境界部に10mmのカッターをいれること。  
 5. 施工数量については、現地再確認を行った上で決定すること。

A 3出力時は、表記縮尺の倍です。

工事名	令和3年度 道路メンテナンス事業 市道出合床並中出線早谷橋橋梁補修工事		
図面名	上部工補修図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	2/6
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

# 下部工補修図 (早谷橋)

A1橋台  
S=1:30



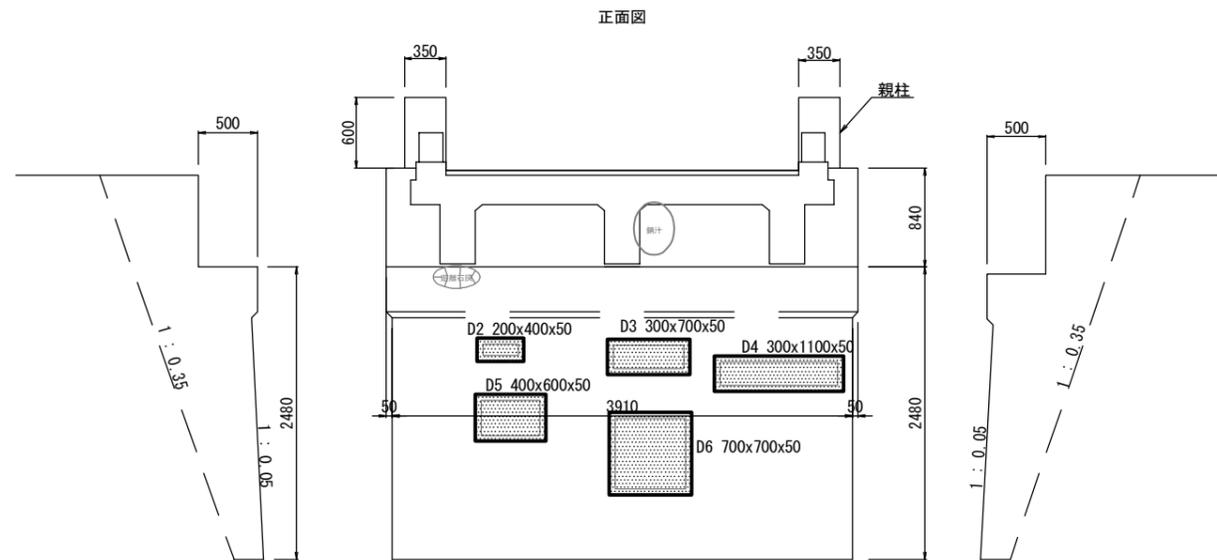
凡例

剥離	断面修復工（無筋）	
----	-----------	--

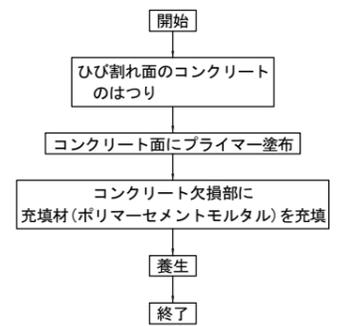
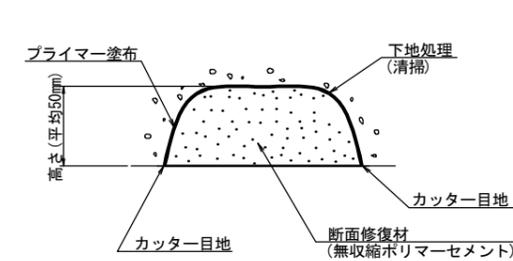
・断面修復工C（無筋）剥離  
厚さ：50mm

番号	部材名	損傷箇所	長さ1 (mm)	長さ2 (mm)	深さ (mm)	面積 (㎡)	体積 (㎡)
D1	A1橋台	縦壁	300	500	50	0.1500	0.0075
小計 (A1橋台)						0.150	0.0075
D2	A2橋台	縦壁	200	400	50	0.0800	0.0040
D3	A2橋台	縦壁	300	700	50	0.2100	0.0105
D4	A2橋台	縦壁	300	1100	50	0.3300	0.0165
D5	A2橋台	縦壁	400	600	50	0.2400	0.0120
D6	A2橋台	縦壁	700	700	50	0.4900	0.0245
小計 (A2橋台)						1.350	0.0675
断面修復工C（無筋）合計						1.500	0.0750

A2橋台  
S=1:30



断面修復工C 詳細図  
(無筋) S=None



注) 1. 既設と補修境界部に10mmのカッターをいれること。  
5. 施工数量については、現地再確認を行った上で決定すること。

工事名	令和3年度 道路メンテナンス事業 市道出合床並中出線早谷橋橋梁補修工事		
図面名	下部工補修図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	3/6
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A 3出力時は、表記縮尺の倍です。

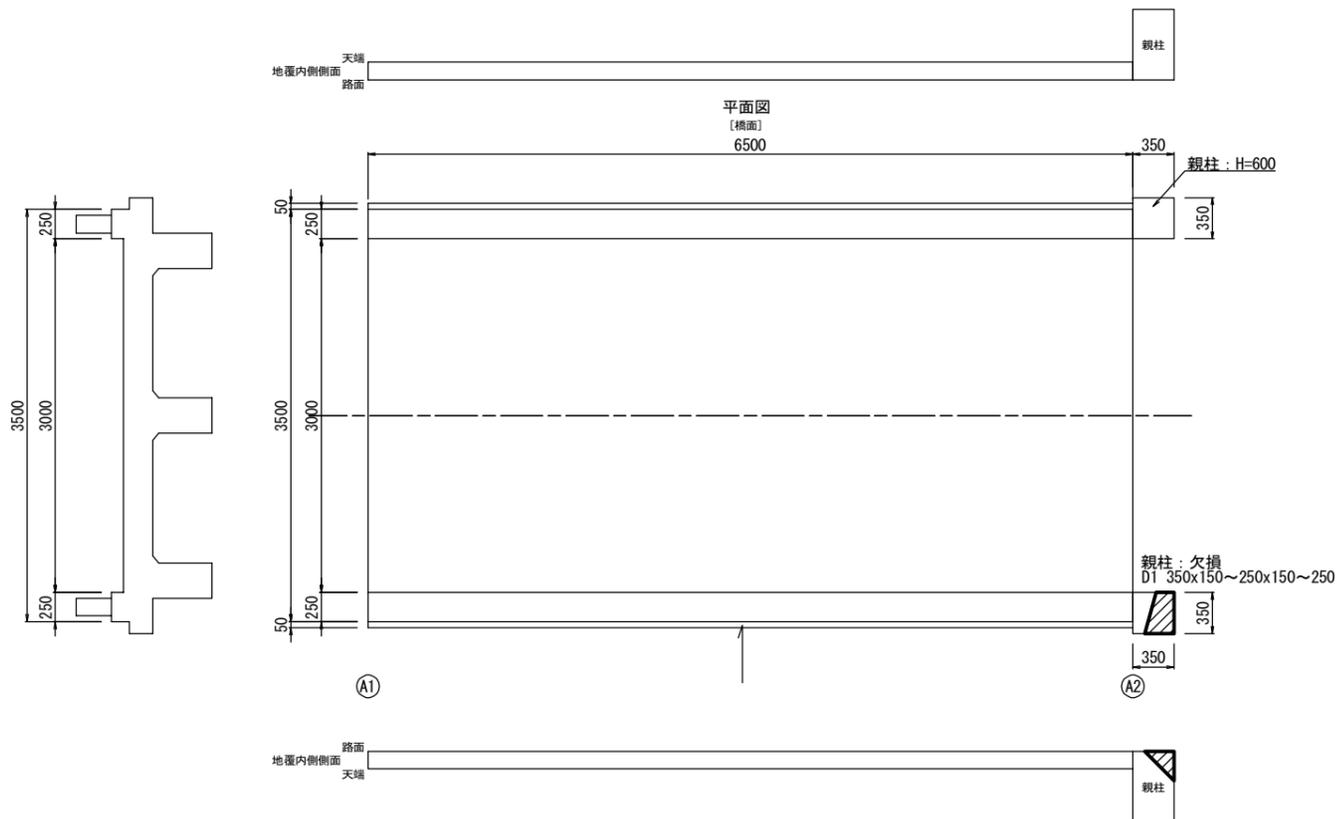
# 親柱補修図

(早谷橋)

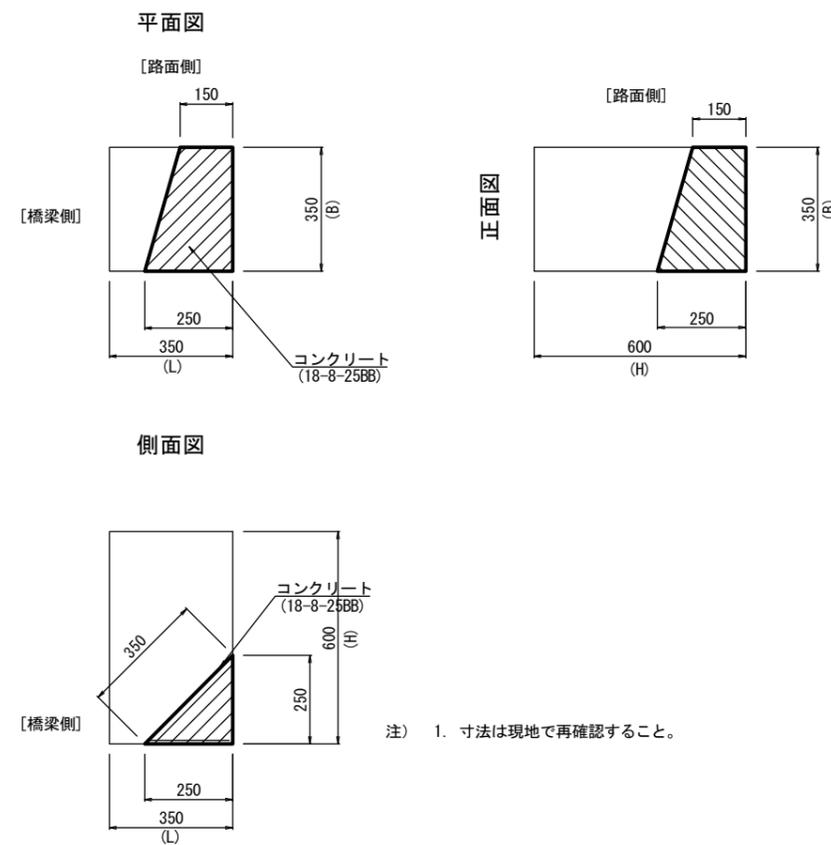
凡例

欠損	親柱補修工(無筋)	
----	-----------	--

平面図  
S=1:30



補修詳細図  
S=1:10



注) 1. 寸法は現地で再確認すること。

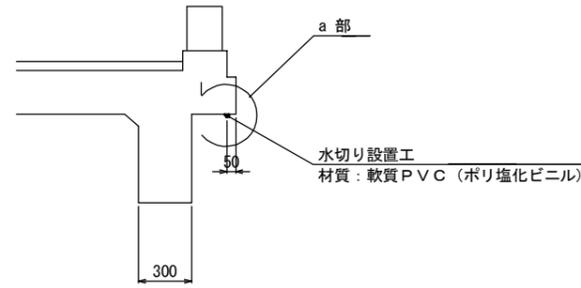
工事名	令和3年度 道路メンテナンス事業 市道出合床並中出線早谷橋橋梁修繕工事		
図面名	親柱補修図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	4/6
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A3出力時は、表記縮尺の倍です。

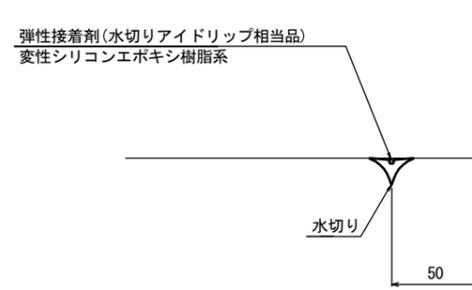
# 水切り設置工詳細図

(早谷橋)

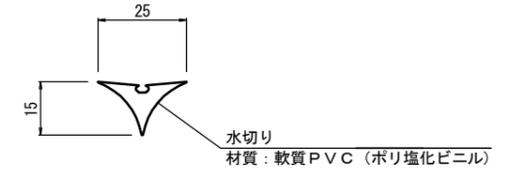
断面図 S=1:20



a部詳細図 S=1:2

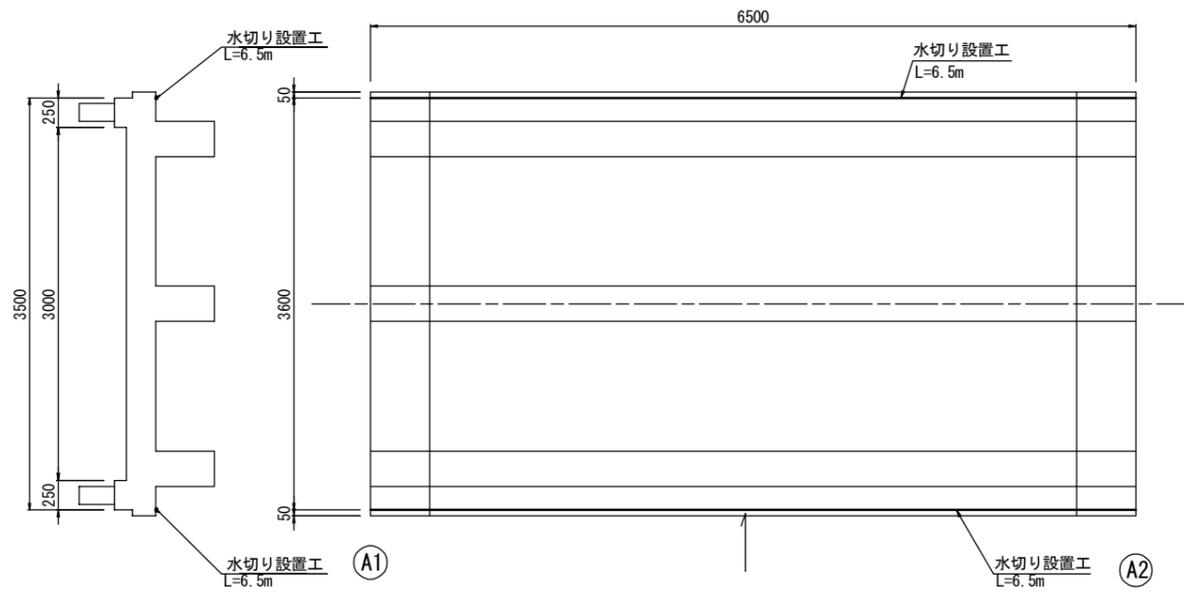


水切り材断面図 S=1:1



注) 接着面は清掃し、油分、ごみ等を取り除くこと。

平面図 S=1:30  
[桁下面]



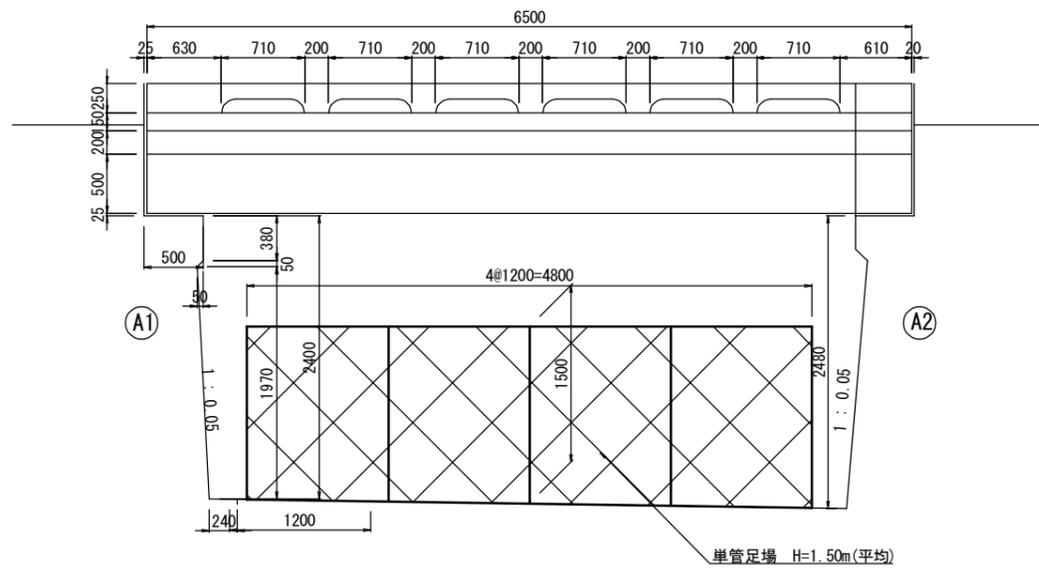
工事名	令和3年度 道路メンテナンス事業 市道出合床並中出線早谷橋橋梁修繕工事		
図面名	水切り設置工詳細図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	5/6
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

注) 現地再計測の上、施工を行うこと。

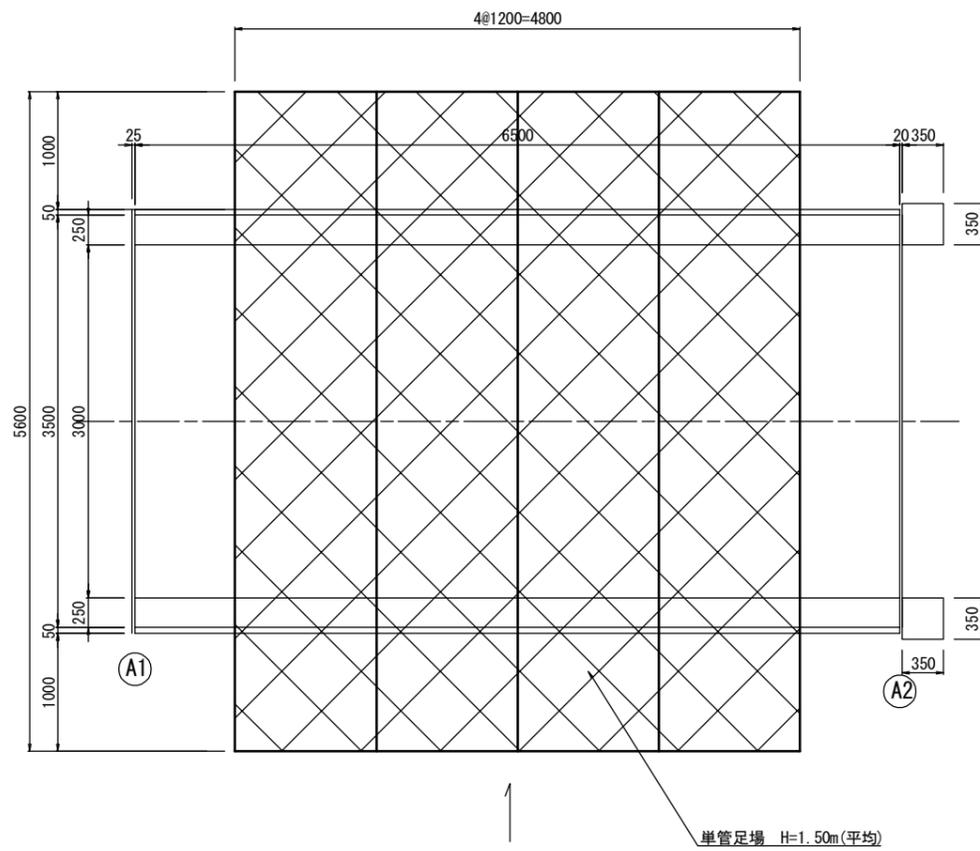
A3出力時は、表記縮尺の倍です。

足場架設図(参考図)  
(早谷橋) S=1:30

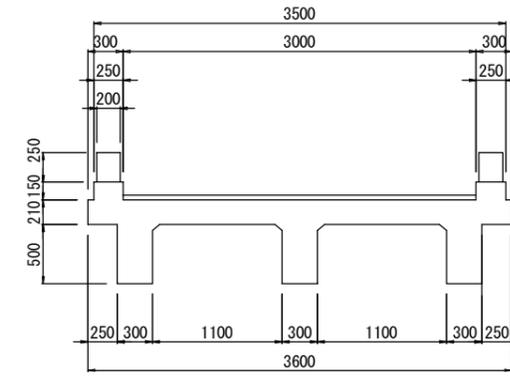
側面図



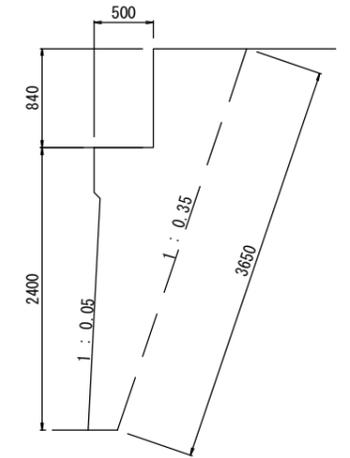
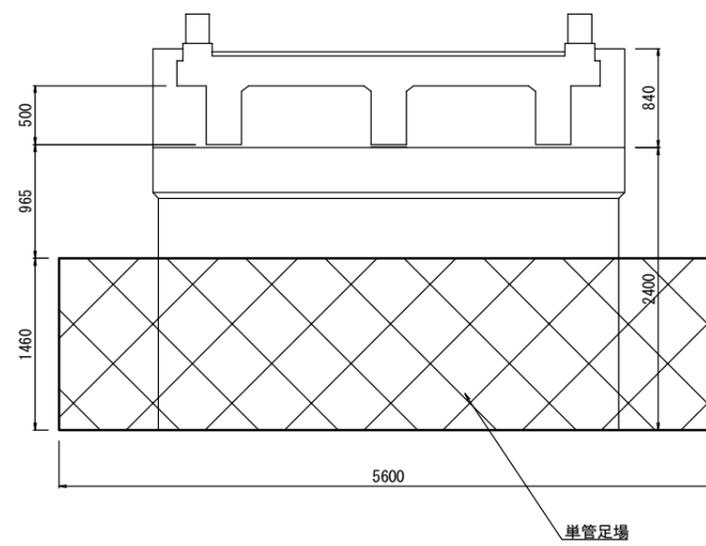
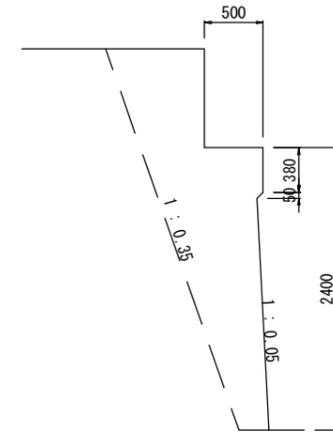
平面図  
[橋面]



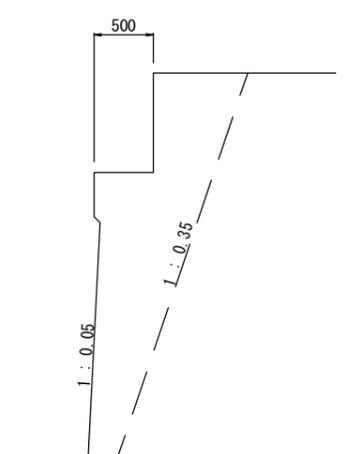
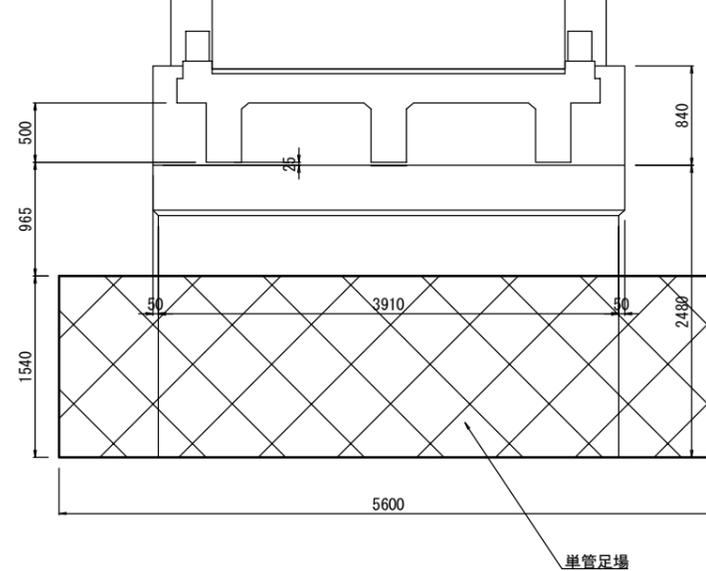
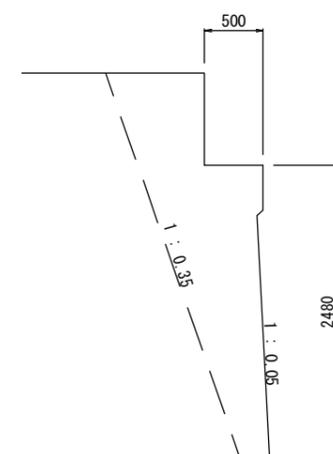
断面図



A1橋台



A2橋台



工事名	令和3年度 道路メンテナンス事業 市道出合床並中出線早谷橋橋梁修繕工事		
図面名	足場架設図(参考図)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	6/6
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A3出力時は、表記縮尺の倍です。